

行田市下水道事業の経営状況 (令和4年度決算)

令和5年11月2日(木)

令和4年度 公共下水道事業決算状況

損益計算書【1年間の経営成績】

単位：千円 税抜

収益合計 = 費用合計 + 純利益 = 1,708,674

特別利益71

収益

営業収益 866,018

営業外収益 842,585



営業外費用 156,934

特別損失 4,763

費用

+
純利益

営業費用 1,412,983

営業利益 ▲546,965

純利益は、建設改良費の不足額に補てん

純利益 133,994

貸借対照表【公共下水道事業の財政状況】

資産合計 = 負債合計 + 資本 = 23,153,745

流動資産 242,393
(うち現金預金 159,724)

資産

固定資産 22,911,352

負債

+
資本

固定負債 7,498,353

繰延収益 7,694,877

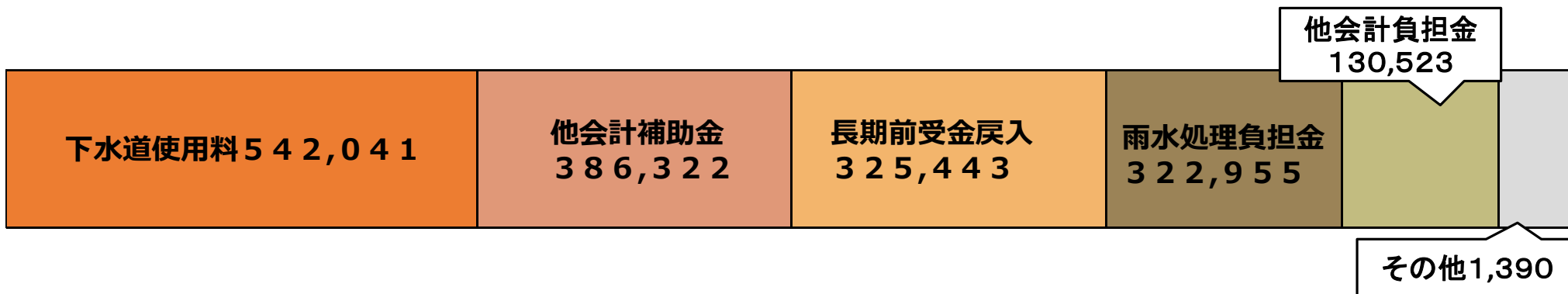
資本 7,000,024

流動負債 960,491

令和4年度 決算内訳【3条 収益的収支】

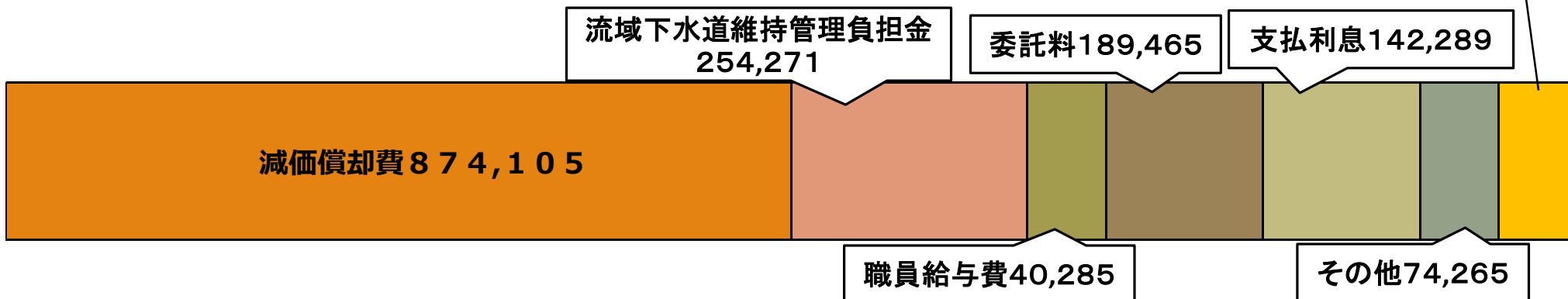
収 益 合 計 1,708,674

単位：千円 税抜



費 用 合 計 1,574,680

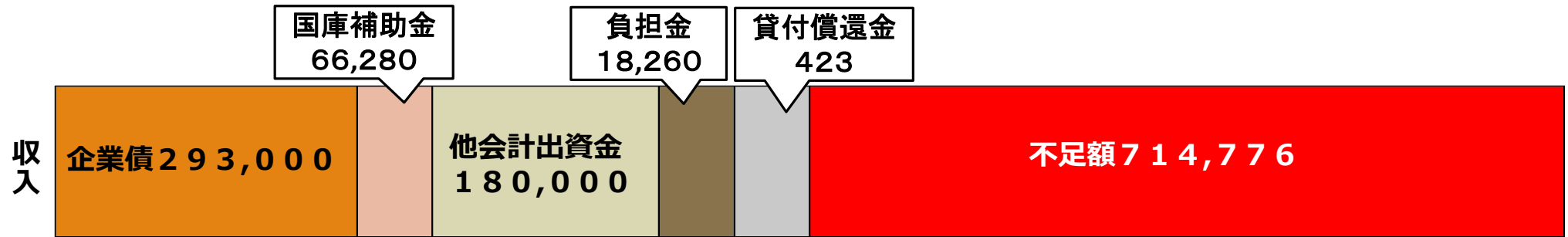
純利益 133,994



令和4年度 決算内訳【4条 資本的収支】

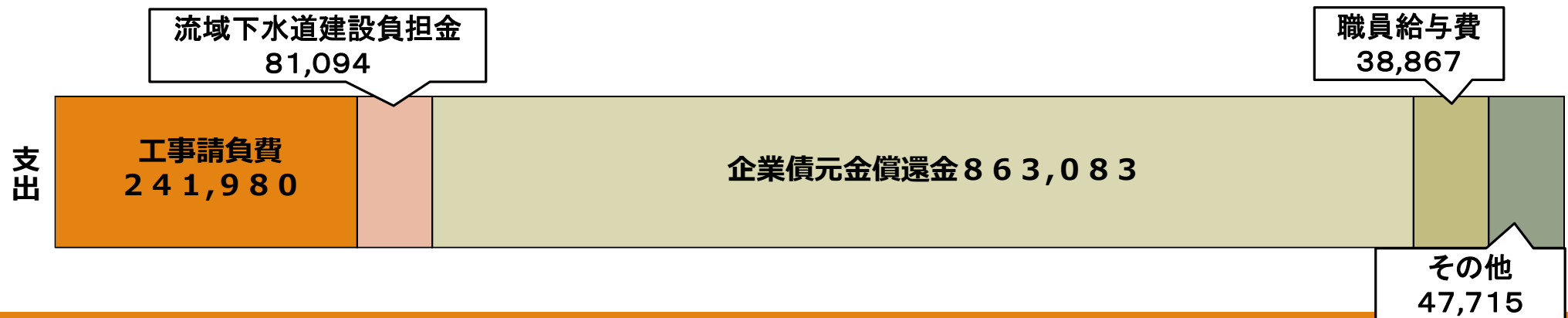
合計 557,963

単位：千円 税込



資本的収入及び支出において、収入557,963千円、支出1,272,739千円となり、不足額714,776千円は、当年分消費税及び地方消費税資本的収支調整額27,755千円、当年度分損益勘定留保資金548,664千円及び当年度利益剰余金処分量138,357千円で補てんしました。

合計 1,272,739



令和4年度 決算内訳【他会計繰入金】

公共下水道事業は、独立採算性で経営を行っておりますが、現状では一般会計からの繰入金があつて成り立っている状況です。

3条 収益的収入

基準内（地域全体が負担するべき分）		基準外	
雨水処理負担金	322,955,000円	他会計補助金	386,322,000円
他会計負担金	130,523,000円		
合計	453,478,000円	合計	386,322,000円

4条 資本的収入

基準内（地域全体が負担するべき分）		基準外	
他会計出資金	167,321,000円	他会計出資金	12,679,000円
合計	167,321,000円	合計	12,679,000円

令和4年度の他会計繰入金合計は、1,019,800,000円でした。

そのうち一般会計が負担しなくてもよい基準外繰入金（本来は使用者が負担するべき分）は、399,001,000円となっております。

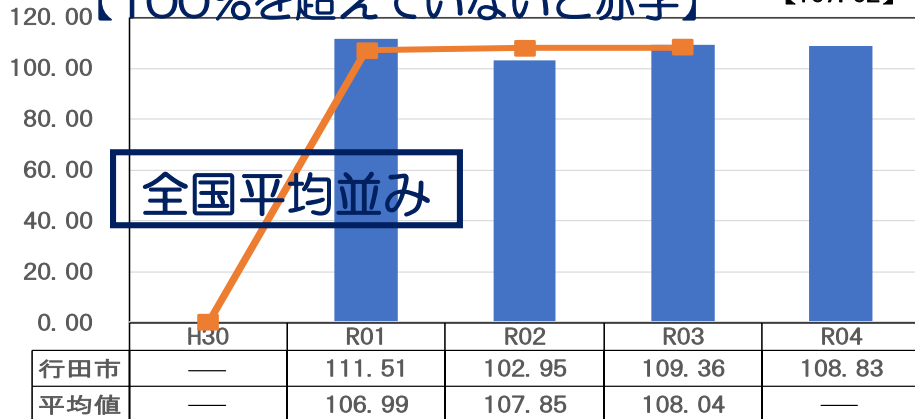
令和4年度末の下水道普及率は、57.41%で半数以上となっておりますが、未普及の方（約43%）からも負担していただいで公共下水道事業を経営している状況です。

経営の健全性（平均値はR3時点）

■水を処理する費用が、収益で賄えているか？

①経常収支比率（％）

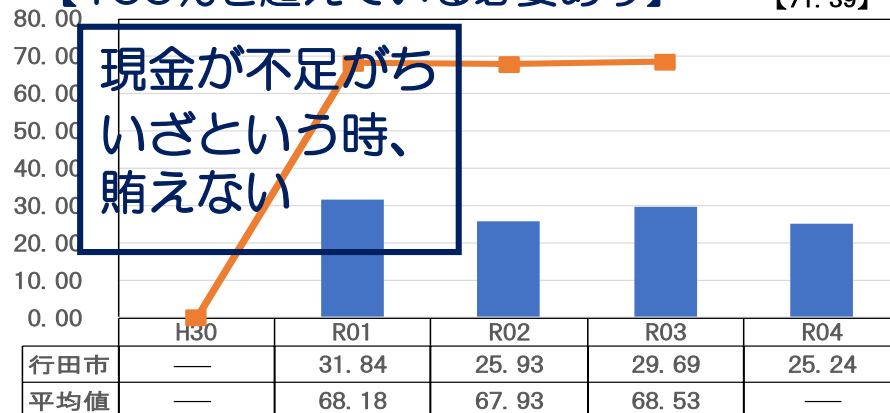
【100%を超えていないと赤字】 【107.02】



■短期的な債務の支払い能力があるか？

③流動比率（％）

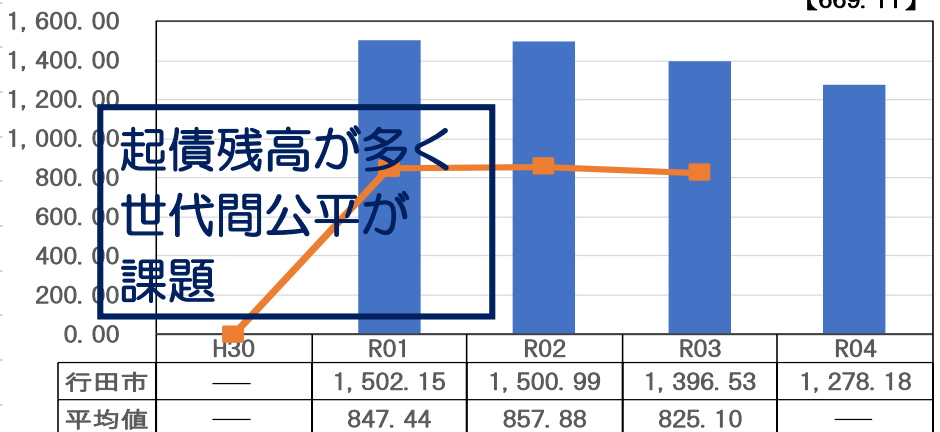
【100%を超えている必要あり】 【71.39】



■下水道使用料と起債残高の状況は？

④企業債残高対事業規模比率（％）

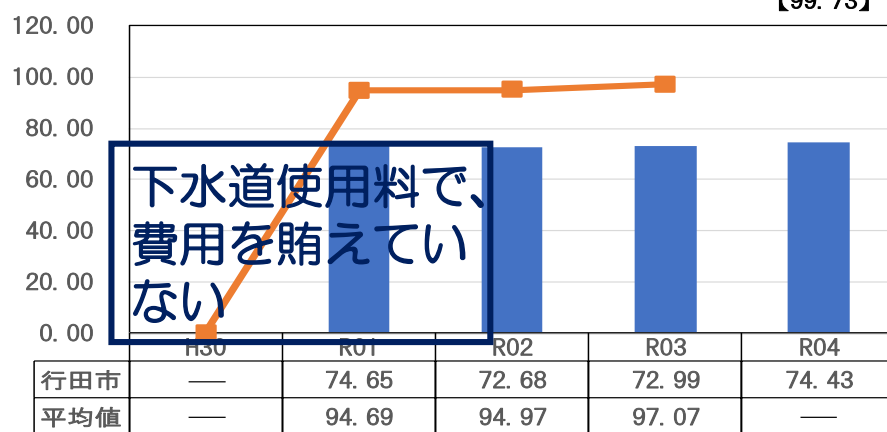
【適度な更新と起債残高のバランス】 【669.11】



■汚水処理費用が、収益で賄えているか？

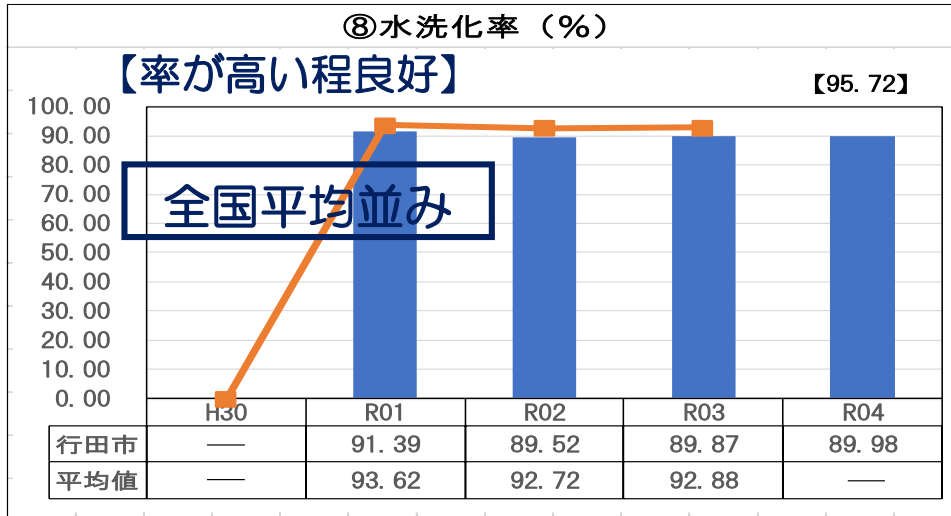
⑤経費回収率（％）

【100%を超えている必要あり】 【99.73】

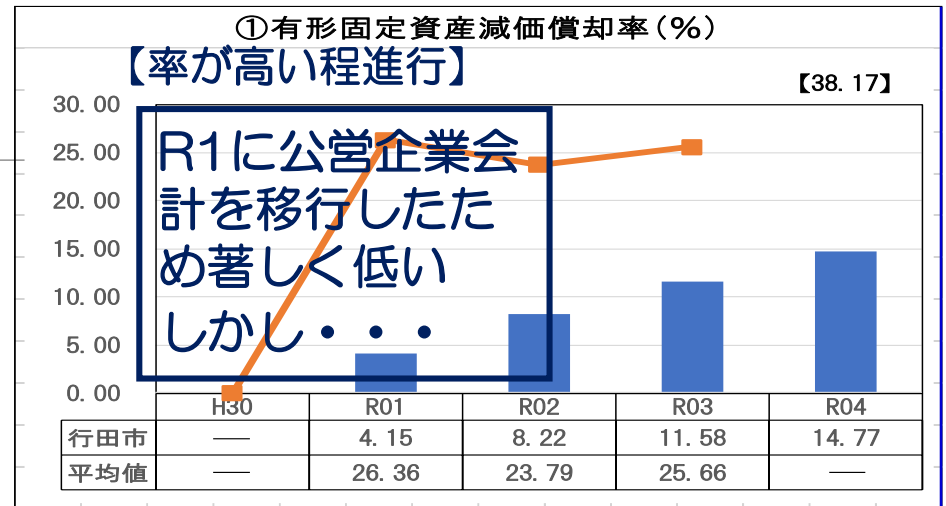


老朽化の状況（平均値はR3時点）

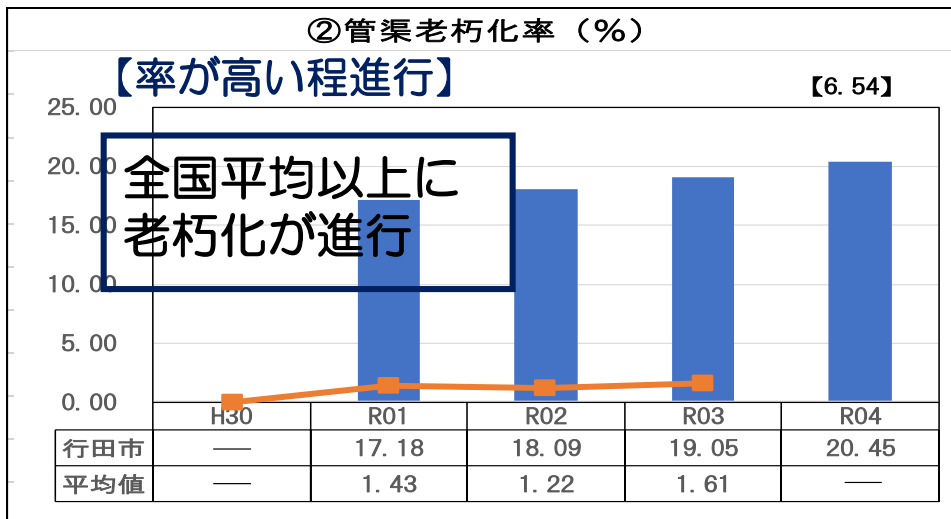
■水洗便所を設置している汚水処理人口割合は？



■減価償却がどれだけ進んでいるか？



■耐用年数を超えた管渠がどれだけあるか？



■管路をどれだけ更新しているか？

